

平成 29 年 7 月 6 日

滋賀県がん診療連携協議会

平成 29 年度 第 1 回 がん登録推進部会 議事概要

- 日 時： 平成 29 年（2017 年）7 月 6 日（木） 16：00～17：00
- 場 所： 滋賀県立成人病センター 新館 1F 研修室
- 出席者： 中川聖子（滋賀医科大学医学部附属病院）
廣瀬哲朗、森明子（大津赤十字病院）
柏本弘美（公立甲賀病院）
龍見謙太郎、志井千明（彦根市立病院）
平良薫、代) 川瀬由美子（市立長浜病院）
大橋信也（高島市民病院）
木原明生、寺田貴子（市立大津市民病院）
代) 鯉江淳美（草津総合病院）
代) 國友夏衣（済生会滋賀県病院）
土屋邦之、大西真（近江八幡市立総合医療センター）
楠井隆、吉田純（長浜赤十字病院）
太田裕之、太田悦子（東近江総合医療センター）
八木政廣（滋賀県がん患者団体連絡協議会）
野坂明子（滋賀県健康医療福祉部健康医療課）
財間正純、田中一史、嶋田宏之（滋賀県立成人病センター）
- 欠席者： 稲富理（滋賀医科大学医学部附属病院）
八木勇紀（公立甲賀病院）
武田佳久（高島市民病院）
伊藤良治（草津総合病院）
片山政伸（済生会滋賀県病院）

（敬称略）

【議題等】

1. 部会長の挨拶
2. 新委員紹介【資料①】
3. 都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会がん登録部会報告【資料②】
 - ◆ 院内がん登録 2008 年症例の生存率集計は、施設一覧ではなく施設毎の様式で公表される。
 - ◆ 今後のデータ収集等の予定
 - ・ 2010 年 5 年、2012 年 3 年予後情報付集計：2017 年 6 月 19 日～7 月 14 日
 - ・ 2016 年院内がん登録全国集計（拠点病院）：2017 年 7 月 18 日～8 月 18 日
 - ・ 2016 年院内がん登録全国集計（支援病院）：2017 年 8 月 1 日～8 月 31 日

- ・2008-2009 生存率報告書のコメント収集：2017年7月3日～8月25日
- ・QI 研究 2014 年症例未実施理由入力および参加申込：2017年8月31日まで
- ・QI 研究 2015 年症例 DPC データ収集参加申込：2017年7月31日まで
- ・QI 研究 2015 年症例 DPC データ提出：2017年9月30日まで

4. 今年度のPDCAについて

- ◆昨年度に引き続き、テーマは『がん登録情報の活用』、指標は『活用事例数』とする。

5. 平成 29 年度事業計画（アクションプラン）について【資料③】

① 部会

- ・第1回 平成 29 年 7 月 6 日（木）16 時 00 分～
- ・第2回 平成 29 年 9 月 13 日（水）16 時 00 分～
- ・第3回 平成 30 年 2 月 7 日（水）16 時 00 分～

② 院内がん登録実務研修会

成人病センターにて、研修会を5回開催する。

- ・第1回 平成 29 年 8 月 1 日（火）「相互チェック結果について」
- ・第2回 平成 29 年 9 月 日（ ）「2016 年版登録項目について」
- ・第3回 平成 30 年 2 月 日（ ）「初級・中級研修のための勉強会」
- ・第4回 平成 30 年 1 月 日（ ）「がん統計資料作成およびプレゼンの演習①」
- ・第5回 平成 30 年 2 月 日（ ）「がん統計資料作成およびプレゼンの演習②」

※第2回以降の日程は後日調整予定

③ 2016 年全国集計提出前チェックおよび提出後収集

- | | |
|---------------|---------------------|
| ・データ収集 | 平成 29 年 7 月 14 日締切り |
| ・データ統合後各施設に配布 | 平成 29 年 7 月 20 日予定 |
| ・相互チェック後データ収集 | 平成 29 年 7 月 27 日締切り |
| ・相互チェック結果まとめ | 平成 29 年 8 月 1 日 |

6. 収集データ集計結果の公表および各施設での利用について【資料④】

- ◆一昨年度・昨年度より検討を続けてきたデータ公表については、患者会をはじめとして社会的な求めはだんだんと強まっているが、公表データの信頼性や、誤解を招かないような対策は必要である。
- ◆資料④の 2015 年症例の症例区分、臨床病期、初回治療、手術療法にかかる集計データの協議会ホームページへの公表については、施設別の棒グラフは掲載せず、全 13 病院を集計したの円グラフのみを掲載し集計対象病院名を明記する。また、全国値を追加して比較できるようにする。集計対象は 2015 年とし、集計対象の病院名を明記する。対象部位は、胃、大腸、食道、胆・肝・膵、肺、乳房、子宮・卵巣、前立腺、腎・尿路、膀胱の 10 分類とする。
- ◆2016 年データについては、データ提出後の集計を行い、次回の部会で検討する。

- ◆ データ収集参加施設へは、本日の資料④のグラフデータを共有するが、院内における活用にとどめる。
- ◆ 現在策定中の次期がん対策推進計画には、このようながん登録データの積極的な活用が望まれる。

7. 全国がん登録オンライン届出について

- ◆ 今年度4月稼働のオンラインシステムは、現在システム障害で停止されているため、2016年症例のデータについては、CD等に保存して簡易書留で郵送とする。

以上